

決議 ～自治会の活動報告と活動方針～

このたびの自治委員会総会において、2019 年度前期の活動報告と 2019 年度後期の活動案が承認されました。このページでは、その概要を解説します。全文は学生自治会のウェブサイト上で掲載しています。

決議：http://zichikai.ehoh.net/zichiso/_ketugi/19kou.pdf

そもそも決議とは？

学生自治会の目的は「学生とともに、よりよい学生生活を実現する」ことです。しかし、学生自治会だけで活動内容を決定してしまうと、学生が望んでいるものとは異なった活動をしてしまう可能性があります。そこで、学生自治会がこれまでの半期に行ってきた活動を報告し、これから半期の活動方針をまとめた「決議案」を自治委員会総会において提議することで、学生の皆さんにその活動内容が学生のためになるものであるかを判断してもらいます。決議案は自治委員会総会に参加している代議員の過半数の賛成により「決議」となり、これから半年間学生自治会は決議に沿って活動を行います。

つまり、決議の内容を見れば、学生自治会が半年間どのような活動を行ったのか、そしてこれからどのような活動を行うのかがわかるのです！

P5 決議のポイント

2019 年度後期自治委員会総会決議のうち、前年からの変更があった部分を中心に解説します。

P6 決議 ～他団体との協力～

学生団体連絡会議・立て看板管理局・ステージ管理委員会・大型 PA 再購入実行委員会についての活動内容を掲載しています。

P9 特別決議について

特別決議の概略、作成目的、今後の『大阪府立大学自治会連合』『大阪府立大学・大阪市立大学統合対策学生委員会』設立に向けた流れを掲載しています。

決議のポイント

府市大統合に向け、情報収集・市大生との話し合いを行いました

現在、2022年度に予定されている大阪府立大学と大阪市立大学の統合（以下、府市大統合）に向けての準備が進んでいます。しかし、学生の実情に即した大学運営が行われなければ、学生が不利益を被るおそれがあります。そこで学生自治会では、意見箱やインターネットを通じて、学生の意見や学生生活に関する情報を収集しました。また、大学関係者、大阪府大学教職員組合、生協や学生センターとの話し合いおよびインターネットを通じて、大学の運営計画や府市大統合に関する情報を収集しました。

また、現状把握を行い新大学の学生団体体制を模索するために、インターネットを通じて市大の学生との話し合いを始めました。

加えて、後期総会では特別決議（詳細は9ページに掲載）が提議され、成立しています。特別決議により『大阪府立大学自治会連合』と『大阪府立大学・大阪市立大学統合対策学生委員会』を成立させ、府市大統合に対する学生団体の体制を整えます。

自治会ウェブサイトの改善を検討します

学生自治会では、内部組織として情報局を設置し、自治会広報誌『NASCA』の発行、ウェブサイトの更新や立て看板の設置などを行い、学生に対して情報を発信しました。今後も引き続き学生に対しての情報発信を行います。

またウェブサイトについては、より多くの学生に情報を届けるために、HTML5への対応、デザインの改良や記述内容の更新などを行うことを検討しています。

新文化部部活の推薦状を発行しました

学生自治会は、学生団体連絡会議の構成団体として新規に部活申請を行った『競技かるた部』『F-enigma』『STUDY FOR TWO 大阪府立大学支部』の3部活について、学生団体間で必要書類について吟味を行ったうえで推薦状を発行しました。

現在、『競技かるた部』『F-enigma』は大学に認可され、『STUDY FOR TWO 大阪府立大学支部』は大学の審議待ちとなっています。